

運営方針

上下水道は、市民が健康で安全かつ快適な生活を送るうえで欠くことのできない都市基盤施設、ライフラインです。このため、地震や事故に強い上下水道システムの構築を図るとともに、持続可能な上下水道事業の経営をめざし、経営の効率化及び健全化に取り組んでいます。

平成29年度は、10年後の上下水道のめざす姿を共有するため、上下水道ビジョン、上下水道経営戦略の具体的な検討を行います。また、上水道については、老朽施設の更新や耐震化事業を進め、下水道については、未普及地域の解消や下水道管路の長寿命化を進めてまいります。

【重点施策とめざす方向】

持続可能な上下水道経営の構築

10年後の上下水道のめざす姿の実現のため、平成30年度策定を目標に「上下水道ビジョン」「上下水道経営戦略」の検討を行います。  
また、持続可能な上下水道経営の実現のため、水道料金・下水道使用料の適正化の検討を行います。

【実績】

目標どおり達成

「上下水道ビジョン」「上下水道経営戦略」の策定については、部内PTや策定員会及び専門家等で組織する経営懇談会において検討を進め、「上下水道ビジョン」の概要をまとめました。水道料金・下水道使用料の適正化に向け、税と受益者の負担のあり方について整理を行いました。

強靱な水道施設の構築

持続可能な経営を前提とした、老朽施設の更新や耐震化等を進めるとともに、安定した水の供給を図るため、既存の「水道施設整備計画」を見直します。  
主要送水配水管路の更新及び耐震化を進め、年度末の耐震管率24.91%を目指します。

目標どおり達成

「水道施設整備計画」の見直しを図りました。主要送配水管路の更新及び耐震化を進め、年度末の耐震管率は25.04%となりました。

安定した下水道（污水）の整備促進

生活排水のより一層の水洗化を図るため、公共下水道未普及地域の整備を促進し、年度末普及率92.33%を目指します。  
また、平成28年度の生活排水処理計画の変更を受け、浄化槽整備事業の取り組みを進め、年度末普及率47.65%を目指します。

目標どおり達成

公共下水道整備事業（污水）を進め、年度末普及率は92.93%となりました。  
浄化槽整備事業を進め、年度末普及率は、58.30%となりました。

安定した下水道施設の管理

下水道施設の老朽化が進んでいる地域を対象に、下水道長寿命化対策事業（第2期：H28～H32）を推進します。  
また、下水道事業の経営の安定化並びに施設の適切な管理を図るため、下水道施設包括的民間委託（PPP）を推進します。

目標どおり達成

下水道長寿命化対策事業を進め、年度末進捗率は27.53%となりました。  
下水道施設包括的民間委託について検討を重ね、滝畑浄化センター及び中継ポンプ場の委託拡大を図る方針を決定しました。